

JHL NEWS

No.3

2012年9月10日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎らが順当勝ち、オムロンは広島に快勝

～第37回日本ハンドボールリーグ・第2週～

第37回日本ハンドボールリーグは9月8、9日に第2週を迎えた。今週からスタートの女子を含め7試合が行われた。男子では大崎電気、湧永製薬が2連勝を飾り、開幕戦を落とした前回王者の大同特殊鋼はトヨタ紡織九州と引き分け、女子は2連覇を狙うオムロンが広島メイプルレッズに快勝した。

宮城でのトヨタ自動車東日本-大崎は、東日本が崎前の得点で率先のいいスタートを切ったが、大崎は小澤の速攻などで6連取し、試合の主導権を握った。その後も地力に勝る大崎が宮崎の個人技や小澤の3連取などで、20-8と12点差をつけてUターン。後半に入り東長濱らで4連取した大崎に対し、東日本は上野らで一進一退の攻防を展開。残り5分を切ったところで足が止まって大崎に突き放された東日本だったが、大量リードを奪われながらも必死にプレーする選手の姿に今後の期待感を抱かせた。

湧永は前週で大同を倒した琉球コラソンと広島で対戦。琉球の時間をかけた攻撃と粘り強い守りにリズムを崩された湧永だったが、26分に木村、27分に新の連打で逆転すると、29分にも追加点を奪って2点リードで前半を終了。後半に入ると新、樋口らで先行する湧永を琉球が連々必死に追撃、白熱した展開で終盤を迎えた。27分に湧永が1点差まで詰め寄られたところでタイムアウトを取り、琉球の勢いを止めにかかった。琉球はあと一歩というところまで迫ったが、樋口、谷村で追加点を奪った湧永が逃げ切って勝利を収めた。

山形での大同-紡織は開始1分、野村で先制した大同が武田の2連取などでゲームをリード。対する紡織は呉のステップシュートや鈴木のサイドシュートなどで反撃したが、大同GK・久保の好セーブが光り、優位をキープした大同が15-11と先行して前半を終えた。後半に入ると紡織の高いディフェンスが機能して点差が縮まり、19分には紡織・佐久間の速攻で1点差と肉薄。一度は2点差となるものの、紡織は残り17秒に藤山で1点差とし、終了と同時に放った村上秀のシュートがゴールイン。両者譲らぬ熱戦は引き分けとなった。

女子注目の広島-オムロンは、前半中盤からオムロンが広島の攻撃リズムが崩れたタイミングを生かし、金らの得点でじりじりとリード。19分3点ビハインドの場面で広島はタイムアウトを要求したが、試合の流れはオムロンに大きく傾き、オムロンが7点リードして前半終了。後半に入ってもオムロンの勢いは衰えず、広島はなんとか試合の流れを変えようとオムロン・東濱にマンツーマンをつけ、ポストを絡めた攻撃で追い上げを見せたが、8分以降、石立、勝連らの活躍で再加速したオムロンが30-18の大差で会心の勝利をものにした。



④琉球に競り勝った湧永・中浦
⑤順当に開幕戦を飾った北國・若泉

第3週の日程

9月15日(土)	石川	小松総合体育館 (JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00～ (女) ソニーセミコンダクタ × 広島メイプルレッズ
	静岡	静岡市中央体育館 (JR東海道本線静岡駅徒歩20分)	15:00～ (女) 北國銀行 × オムロン
	広島	湧永満之記念体育館 (JR芸備線甲立駅車10分)	13:00～ (女) 三重バイオレットアイリス × H C 名古屋
9月16日(日)	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	15:30～ (男) トヨタ紡織九州 × 大崎電気
	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	13:00～ (男) トヨタ自動車東日本 × 大同特殊鋼
9月17日(月)	愛知	プラザー体育館 (地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	15:30～ (男) 湧永製薬 × トヨタ車体
	岡山	総社市スポーツセンター体育館(JR伯備線総社駅徒歩15分)	14:00～ (男) 北陸電力 × 琉球コラソン
	愛知	プラザー体育館 (地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00～ (女) 北國銀行 × ソニーセミコンダクタ
	岡山	総社市スポーツセンター体育館(JR伯備線総社駅徒歩15分)	15:00～ (男) 北陸電力 × トヨタ紡織九州
	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	13:00～ (男) H C 名古屋 × オムロン
			15:00～ (男) 豊田合成 × 琉球コラソン
			13:00～ (男) トヨタ自動車東日本 × 湧永製薬
			15:00～ (男) トヨタ車体 × 大同特殊鋼
			14:00～ (女) 広島メイプルレッズ × 三重バイオレットアイリス

豊田合成が北陸電力下して初勝利

愛知での豊田合成 - 北陸電力は、北電が落合のポストシュートや柳田の好ディフェンスが光り前半を13-11と先行して折り返したが、後半に入ると合成が中島の3連打を含む5連続得点で逆転に成功。中盤以降も着実に得点を加えた合成が、途中出場のG K藤堂の活躍もあって山原、赤塚らが奮戦する北電を突き放した。

石川での北國銀行 - H C名古屋戦は、北國が石野、横嶋の速攻など3連取で好スタート。その後もアグレッシブなディフェンスとG K田代の好守などで優勢に試合を運び18-5と大量リードで前半終了。後半も北國はスピードあふれる攻撃にものをいわせて次々と加点、33-9で順当に開幕戦を白星で飾った。

鹿児島でのソニーセミコンダクター三重バイオレットアイリスは、前半4分過ぎからソニーが錦織の速攻を皮切りに田中の連続速攻などで7点連取、そのまま優位をキープして前半12-5で終了。後半もソニーの勢いは衰えず、13分には田中のミドルシュートで20-9として試合を決定づけた。

男子8試合、女子6試合が行われる次週は、トヨタ車体が湧永製薬、大同特殊鋼と対戦、上位候補に名を連ねる各チームの戦いぶりが見もの。女子は優勝争いすると見られる北國銀行 - オムロンの好カードが組まれている。

選手登録情報

トヨタ自動車東日本

No 1 永瀬 郁実 1986.05.21 183cm 70

kg 右 塩山中→駿台甲府高→早稲田大

※9月15日から出場可能

〈湧永製薬〉

No 8 小賀野 龍也 (登録抹消)

◆ 9月8日(土) 女子
石川・金沢市総合体育馆

北國銀行	33 (18-5 1勝0分0敗)	9 H C名古屋
	15-4	0勝0分1敗
<0/1>	K 寺 田	近 藤 K <1/3>
1/ 1 若 泉	伊 藤 0/ 2	
0/ 0 鮎 場	福 井 1/ 6	
2/3 7/12 上 町	高 橋 1/ 4	
1/ 1 翁 長 鈴	木 0/ 3 1/2	
3/ 6 石 野 細	田 2/ 5	
2/ 4 田 邊 阪	本 1/ 3	
2/ 2 小 野 澤 田	藤 0/ 0	
2/ 3 横 嶋 上 野	上 野 0/ 0	
4/ 8 後 藤 上 村	上 村 2/ 6	
0/ 3 翁 長 家 城	家 城 K	
K 田 橋 本 山 内	山 内 1/ 5	
K 橋 本 橋 井 邊	井 邊 0/ 1	
8/11 八 十 島 戸 塚	戸 塚 0/ 1	
1/ 1 若 松 金 塚	金 塚 0/ 0	

2/3 31/52 5(FPP) 10 8/36 1/2

トヨタ自動車東日本	近 藤 13/40 0.325
0.800 12/15 寺 田	家 城 0/ 0 0.000
0.714 10/14 田 代	戸 塚 3/ 7 0.429

0.742 23/31 (GK) 16/47 0.340
審判(大石・桜打) 観客 625人

◆ 9月8日(土) 女子
鹿児島・霧島市国分体育馆

ソニーセミコンダクター	三重バイオレットアイリス 12-5 16
1勝0分0敗	13-11 0勝0分1敗

2/4 4/ 6 山 野	浅 井 K <0/1>
0/ 0 山 田	横 田 0/ 0
3/ 4 高 橋	大 田 2/ 2
6/ 8 田 中	阿 久 田 0/ 3
0/ 1 山 田	富 田 0/ 0
2/ 6 儀 間	石 坂 1/ 7
0/ 0 古 川	飯 田 1/ 3
0/ 0 川 崎	石 川 1/ 2
0/ 0 毛 利	利 川 0/ 1
2/ 5 石 井	漆 烟 3/ 5
0/ 0 鎌 倉	伊 藤 0/ 0 3/4
3/ 4 錦 織	小 稲 2/ 5
0/ 0 藤 井	万 谷 3/ 6
3/ 7 内 岩	早 船 0/ 9

2/4 23/41 7(FPP) 7	13/43 3/4
0.594 19/32 飛 田	浅 井 8/20 0.400
0.000 0/ 0 南	毛 利 5/16 0.313

0.594 19/32 (GK) 13/36 0.361
審判(多田・市丸) 観客 521人

◆ 9月9日(日) 男子
宮城・フラップ大郷21

◆ 9月9日(日) 男子
山形・東根市民体育馆

◆ 9月9日(日) 男子
愛知・豊田合成(株)健康管理センター

豊田合成 30 (11-13
1勝0分1敗) 24 北陸電力

0勝0分2敗

0/ 0 柚 原	神 田 0/ 2
0/ 0 原	切 井 3/ 6
2/2 4/ 5 野 田	桜 井 3/ 7
0/ 0 黒 木	前 田 0/ 0
7/ 8 大 橋	杉 田 2/ 3
7/ 4 桶 谷	落 合 5/ 6
0/ 1 湯 脇	小 廣 澤 0/ 0
7/ 13 中 島	瀬 岸 <0/2>
0/ 1 長 江	江 田 6/ 12
0/ 0 加 藤	藤 原 0/ 0
0/ 0 加 藤	宮 下 0/ 0
0/ 0 加 藤	添 田 K
5/ 10 今 村	赤 塚 5/ 10
1/ 2 中 村	佐 々 木 0/ 0
2/ 5 芳 仲	江 田 K
2/ 5 芳 仲	櫛 田 0/ 0

2/2 28/49 5(FPP) 3 24/46 0/0

0.278 5/18 藤 田 3/ 6 0.500

0.476 10/21 藤 堂 0/ 0 0.000

0.385 15/39 (GK) 10/38 0.263

審判(永春・安田) 観客 481人

0.667 16/24 浦 和 0.309

0.455 10/22 東 0.309

0.565 26/46 (GK) 17/55 0.309

審判(多田・市丸) 観客 960人

0.488 20/41 (GK) 9/28 0.321

審判(黒木秀・黒木龍) 観客 1039人

男女個人ランキング 第2週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 中島 晋太郎 (豊田合 成)	15 点	(2試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	9 点	(1試合)
2 野田 祐希 (豊田合 成)	14 点	(2試合)	2 八十島 智美 (北國銀行)	8 点	(1試合)
3 小澤 広太 (大崎電気)	13 点	(2試合)	3 東濱 裕子 (オムロン)	6 点	(1試合)
3 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	13 点	(2試合)	3 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	6 点	(1試合)
5 新建二 (湾永製薬)	12 点	(2試合)	3 山野由美子 (ソニーセミコンダクタ)	6 点	(1試合)
6 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	11 点	(2試合)	3 高山智恵 (メイブルレッズ)	6 点	(1試合)
6 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	11 点	(2試合)	7 勝連智恵 (オムロン)	5 点	(1試合)
8 落合 信也 (北陸電力)	10 点	(2試合)	7 金且妍 (オムロン)	5 点	(1試合)
			7 藤井紫緒 (オムロン)	5 点	(1試合)
			10 後藤千渡世 (北國銀行)	4 点	(1試合)
			10 石立真悠子 (オムロン)	4 点	(1試合)

フィールド得点

1 中島 晋太郎 (豊田合 成)	15 点	(2試合)	1 八十島 智美 (北國銀行)	8 点	(1試合)
2 小澤 広太 (大崎電気)	13 点	(2試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	7 点	(1試合)
3 新建二 (湾永製薬)	12 点	(2試合)	3 東濱 裕子 (オムロン)	6 点	(1試合)
4 野田 祐希 (豊田合 成)	11 点	(2試合)	3 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	6 点	(1試合)
4 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	11 点	(2試合)	3 高山智恵 (メイブルレッズ)	6 点	(1試合)
6 落合 信也 (北陸電力)	10 点	(2試合)	6 勝連智恵 (オムロン)	5 点	(1試合)
6 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	10 点	(2試合)	6 金且妍 (オムロン)	5 点	(1試合)
8 連基徳 (琉球コラソン)	9 点	(2試合)	8 山野由美子 (ソニーセミコンダクタ)	4 点	(1試合)
8 信太弘樹 (大崎電気)	9 点	(2試合)	8 後藤千渡世 (北國銀行)	4 点	(1試合)
8 佐藤智仁 (湾永製薬)	9 点	(2試合)	8 石立真悠子 (オムロン)	4 点	(1試合)
8 山原佑太 (北陸電力)	9 点	(2試合)			
8 村山裕次 (琉球コラソン)	9 点	(2試合)			
8 今村彰伸 (豊田合 成)	9 点	(2試合)			
8 榎本貴康 (琉球コラソン)	9 点	(2試合)			

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 連基徳 (琉球コラソン)	9点/ 10射 0.900	1 勝連智恵 (オムロン)	5点/ 5射 1.000
2 信太弘樹 (大崎電気)	9点/ 11射 0.818	2 東濱裕子 (オムロン)	6点/ 7射 0.857
3 野田祐希 (豊田合 成)	11点/ 16射 0.688	3 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	6点/ 8射 0.750
4 小澤広太 (大崎電気)	13点/ 19射 0.684	4 八十島智美 (北國銀行)	8点/ 11射 0.727
5 落合信也 (北陸電力)	10点/ 15射 0.667	5 金且妍 (オムロン)	5点/ 7射 0.714
6 中島晋太郎 (豊田合 成)	15点/ 23射 0.652	6 山野由美子 (ソニーセミコンダクタ)	4点/ 6射 0.667
7 新建二 (湾永製薬)	12点/ 19射 0.632	7 高山智恵 (メイブルレッズ)	6点/ 10射 0.600
8 佐藤智仁 (湾永製薬)	9点/ 15射 0.600	8 上町史織 (北國銀行)	7点/ 12射 0.583
9 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	11点/ 19射 0.579	9 後藤千渡世 (北國銀行)	4点/ 8射 0.500
10 山原佑太 (北陸電力)	9点/ 16射 0.563	10 石立真悠子 (オムロン)	4点/ 13射 0.308

7mスロー得点

1 橋口睦 (湾永製薬)	5 点	(2試合)	1 伊藤亜衣美 (バイオレットアイリス)	3 点	(1試合)
2 東長濱秀希 (大崎電気)	4 点	(2試合)	2 上町史織 (北國銀行)	2 点	(1試合)
3 野田祐希 (豊田合 成)	3 点	(2試合)	2 藤井紫緒 (オムロン)	2 点	(1試合)
3 野村喜亮 (大同特殊鋼)	3 点	(2試合)	2 山野由美子 (ソニーセミコンダクタ)	2 点	(1試合)
3 東長濱秀作 (琉球コラソン)	3 点	(2試合)	5 宋海林 (メイブルレッズ)	1 点	(1試合)
6 木切倉真一 (トヨタ車体)	1 点	(1試合)	5 新城明奈 (メイブルレッズ)	1 点	(1試合)
6 上野承太 (トヨタ自動車東日本)	1 点	(1試合)	5 鈴木身江子 (H C 名古屋)	1 点	(1試合)
6 渡部仁 (トヨタ車体)	1 点	(1試合)			
6 棚原良 (大同特殊鋼)	1 点	(2試合)			
6 豊田賢治 (大崎電気)	1 点	(2試合)			
6 赤塚孝治 (北陸電力)	1 点	(2試合)			
6 藤山岳士 (トヨタ紡織九州)	1 点	(2試合)			

シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位、女子6位以内の選手が対象)

1 久保侑生 (大同特殊鋼)	27本/ 57射 0.474	1 飛田季実子 (ソニーセミコンダクタ)	19本/ 32射 0.594
2 甲斐昭人 (トヨタ車体)	13本/ 30射 0.433	2 藤間かおり (オムロン)	13本/ 29射 0.448
3 浦和克行 (大崎電気)	24本/ 56射 0.429	3 浅井友可里 (バイオレットアイリス)	8本/ 20射 0.400
4 志水孝行 (湾永製薬)	27本/ 72射 0.375	4 堂面妙子 (メイブルレッズ)	15本/ 43射 0.349
5 石田孝一 (琉球コラソン)	21本/ 61射 0.344	5 近藤澄江 (H C 名古屋)	13本/ 40射 0.325
6 関口勝志 (トヨタ自動車東日本)	17本/ 55射 0.309	6 毛利久美 (バイオレットアイリス)	5本/ 16射 0.313
7 有江啓 (北陸電力)	16本/ 55射 0.291		
8 松野雅崇 (トヨタ紡織九州)	15本/ 52射 0.288		
9 藤田東吾 (豊田合 成)	12本/ 61射 0.197		

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 久保侑生 (大同特殊鋼)	2本/ 2射 1.000	1 橋本千里 (北國銀行)	1本/ 1射 1.000
2 志水孝行 (湾永製薬)	3本/ 5射 0.600	2 毛利久美 (バイオレットアイリス)	2本/ 3射 0.667
3 東佑三 (大崎電気)	1本/ 3射 0.333	3 南裕子 (ソニーセミコンダクタ)	1本/ 2射 0.500
4 関口勝志 (トヨタ自動車東日本)	1本/ 4射 0.250	4 近藤澄江 (H C 名古屋)	1本/ 3射 0.333
5 内田武志 (琉球コラソン)	1本/ 6射 0.167	4 堂面妙子 (メイブルレッズ)	1本/ 3射 0.333

第37回日本ハンドボールリーグ成績表

第2週第2日終了 9月9日

順位	男子	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	琉球コラソン	豊田合成	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	北陸電力	トヨタ自動車東日本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気					38 ○ 30				41 ○ 21	2	2	0	0	4	79	51	28
2	湧永製薬				27 ○ 25				26 ○ 22	2	2	0	0	4	53	47	6	
3	トヨタ車体							33 ○ 27		1	1	0	0	2	33	27	6	
4	琉球コラソン		25 ● 27			20 ○ 19				2	1	0	1	2	45	46	-1	
5	豊田合成	30 ● 38						30 ○ 24		2	1	0	1	2	60	62	-2	
6	大同特殊鋼				19 ● 20			21 △ 21		2	0	1	1	1	40	41	-1	
7	トヨタ紡織九州			27 ● 33		21 △ 21				2	0	1	1	1	48	54	-6	
8	北陸電力		22 ● 26			24 ● 30				2	0	0	2	0	46	56	-10	
9	トヨタ自動車東日本	21 ● 41								1	0	0	1	0	21	41	-20	

順位	女子	北國銀行	オムロン	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行						33 ○ 9	1	1	0	0	2	33	9	24
2	オムロン					30 ○ 18		1	1	0	0	2	30	18	12
3	ソニーセミコンタクタ				25 ○ 16			1	1	0	0	2	25	16	9
4	三重バイオレットアイス			16 ● 25				1	0	0	1	0	16	25	-9
5	広島メイプルレッズ		18 ● 30					1	0	0	1	0	18	30	-12
6	HC名古屋	9 ● 33						1	0	0	1	0	9	33	-24

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点の多い順で順位付けしています。